

2009年4月～6月

金融市場の展望と投資戦略

講師 元ライター・ジャパン投資調査部長 中丸友一郎

2008年は「金融恐慌」ともいわれるように国際金融市場に激震が走った。世界の株式市場、為替市場、信用市場および商品市場がすべて10月に総崩れとなる激動の年となった。戦後最大の金融危機であると主張する論者も少なくない。一般投資家がすっかり怯え、委縮してしまっているのも無理はない。

しかし、大きなリスクは、またとない投資のチャンスにつながる。世界一の富豪であり世界一の投資家と自他共に許すウォーレン・バフェット氏は、10月の市場暴落の嵐の中で、NYタイムズとWSJ紙に寄稿し、「皆が恐れているときに貪欲たれ。皆が貪欲であれば恐れよ。」と、いみじくも喝破した。

2009年が投資家にとって素晴らしい年になる可能性は実は小さくない。その最大の根拠は、日米共に新政権が動き出すからに他ならない。特に、米新政権は大胆な経済対策を打ち出し、世界経済をリードし、国際金融市場は大きく好転する確率が高い。

すでに金融危機を回避すべく米国を始めとする主要先進国が、流動性供給、公的資本注入、預金保険拡充、銀行間信用の保証、時価評価の見直しなど、モラルハザードの観点からはやりすぎともいえるほどに、大胆な国際政策協調を実施している。

だが、市場はまだ疑心暗鬼のようだ。乱高下が続くマーケットは世界景気のリセッション入りを心配するどころか、世界大恐慌への突入さえも懸念しているかにみえる。果たして、現在の市場が正しいのか、それとも「ミスター・マーケット」は単に近視眼的にすぎるのだろうか？

現在の不透明な投資環境の中でどのような投資戦略を確立すべきかを明確にご提案したい。

<講師紹介> 中丸 友一郎（なかまる・ともいちろう）一橋大学経済学部卒業。日本輸出入銀行入行。米国ジョージワシントン大学院経済学部博士課程修了。世界銀行（米国ワシントンDC）入行。元JPモルガン・アセットマネジメント・インク主席。著書に「経済崩落 7つのリスク」（あさ出版）等多数。

日 時 2009年6月18日 木曜日 18:45～20:45

受講料（税込） 各回 会員2,940円 一般3,570円（入会不要）

場 所 新宿住友ビル 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

講師の病気や、受講生が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日新の文化活動 朝日カルチャーセンター
〒163-0204 新宿住友ビル内 私書箱22号
新宿区西新宿2-6-1 03-3344-1947(直通)
インターネット情報接続先 <http://www.asahiculture.com/>